



式文全段
+
管絃声歌全曲

巖修

出仕

天台宗魚山實光院住職

真宗高田派龍源寺住職

でんおん管絃講

令和5年 5月13日(土)
午後1時より勤修
(所要時間 約3時間予定)

事前申込不要 / 聴講料無料

但し 勝林院入山志納料(300円)必要
ガイドブック別売(消費税込1,000円)
*当日は会場にて午後12時30分より販売いたします。

魚山大原寺勝林院本堂にて

京都市左京区大原勝林院町187番 <https://www.shourinin.com/>

JR京都駅・京阪三条駅・地下鉄国際会館駅から京都バス「大原行」で
終点「大原」バス停より 徒歩10分

お車でお越しの方へ

勝林院専用駐車場はございません。国道367号線大原三千院周辺の
観光駐車場をご利用ください。

- ・当講座は通常拝観時間中の勝林院本堂にて行いますので、
講式の開始後も会場へは自由に出入り可能です。
- ・開始時間の30分前までは、座席の確保はご遠慮願います。

平安後期・鎌倉期の管絃声歌
つぎ講式の世界

順次往生講式

じゆん
おう
じょう
こう
しぎ



令和五年 勝林院順次往生講式 次第

総礼頌 導師座	(現行天台声明)
三礼・如来唄	(現行天台声明)
音楽 慶雲楽	(声歌つき)
式文 述意門	
音楽 相仏恋	(想夫恋／声歌つき)
音楽 往生急	(皇轡急／声歌つき)
式文 正修門第一	
音楽 万歳楽	(声歌つき)
催馬楽 西方楽	(青柳の替え歌)
式文 正修門第二	
音楽 陪臚	(声歌つき)
催馬楽 西方楽	(伊勢海の替え歌)
式文 正修門第三	
音楽 太平楽破	(声歌つき)
催馬楽 西方楽	(浅水橋の替え歌)
式文 正修門第四	
音楽 三台急	(声歌つき)
催馬楽 西方楽	(何為の替え歌)
式文 正修門第五	
音楽 裏頭楽	(声歌つき)
声明 往生楽	(八句念仏)
式文 正修門第六	
音楽 甘州	(声歌つき)
催馬楽 西方楽	(走井の替え歌)
式文 正修門第七	
音楽 郎君子	(声歌つき)
催馬楽 西方楽	(更衣の替え歌)
式文 正修門第八	
音楽 廻忽	(声歌つき)
催馬楽 西方楽	(飛鳥井の替え歌)
式文 正修門第九	
音楽 五聖楽破・同急	(五常楽破・急／声歌つき)
催馬楽 西方楽	(道口の替え歌)
式文 廻向門	
音楽 蘇合急	(声歌つき)
略神分 少祈願 六種廻向	(現行天台声明)
廻向 妙法蓮華経より管絃成仏の文 (訓読)	
観無量寿経より光明徧照の文 (訓読)	
念仏	
念仏廻向偈	(訓読)

出仕

導師(式文読唱) 天納 玄雄 (天台宗魚山實光院住職)
式衆(式文読唱) 鷹阪 龍哉 (真宗高田派龍源寺住職)

でんおん管絃講(令和5年メンバー)

声歌・和琴	中川 佳代子 (邦楽演奏家)
声歌	関本 彩子 (京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程 日本音楽研究専攻 令和4年度修了)
声歌	荒野 愛子 (京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程 日本音楽研究専攻 令和4年度修了)
声歌	Andrea GIOLAI (ライデン大学人文学部日本学科講師)
龍笛	伊藤 亜希子 (フルート奏者)
琵琶	伊藤 慶佑 (作曲家)
箏	田鉏 智志 (日本伝統音楽研究センター准教授)
笙	池内 奏音 (京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程 作曲専攻 令和4年度修了)

じゅんしおうじょうこうしき 順次往生講式とは

平安後期以降、『妙法蓮華経』方便品第二の文などを典拠として、「管絃歌舞往生」思想が僧侶・公家の間に広まっていきます。一方、講式とは、ある經典や神仏などテーマを定めて儀式的に講義するもので、これも平安後期以降盛んになります。講式には舍利講式、六道講式などさまざまありますが、そのなかで往生講式とは、『無量寿経』の四十八願と『観無量寿経』の十六観想について講じ、西方極楽浄土への想いを新たにする講式です。そして往生講式にさらに管絃歌詠を取り込んで、管絃歌詠の功德により西方浄土を目指すことを講ずるのが、真源の『順次往生講式』です。これは、全11段の式文と管絃声歌つきの唐楽曲・催馬楽曲で構成されます。

その式文がいわば講義にあたるものですが、ただ講じるのではなく、講式節という節回しにのせて音楽的に講じます。今回、講式読唱法の口伝集『声塵要抄』(鎌倉時代)をもとに読唱してみます。

一方、『順次往生講式』の声歌は、雅楽唐楽の平調曲に西方浄土の内容の歌詞を乗せて歌うものと、催馬楽の律曲の歌詞を西方浄土の替え歌で歌うものとあります。その楽譜(五音博士)の伝存例として知られるのが、称名寺本『楽邦歌詠』『西方楽』です。

今回は、両譜集収載の全譜を解説し、また同時代の楽器譜を解説し、再現演奏いたします。平成24年に第1回『順次往生講式』を勤修して以来、抜粋で計4回行ってきましたが、5回目となる今回は、ついに『順次往生講式』式文全段および全曲を勤修いたします。

講式当日、参詣聴講の方々も「声歌」を歌唱いただけます。

* ウィルス感染予防の観点から、歌唱の際はマスクを着用ください。
また、大声での歌唱はお控えください。

ガイド ブック 販売中

順次往生講式

—平安後期・鎌倉期の管絃声歌つき講式の世界—

2023年3月刊行 B5変形 定価1,000円(消費税込)

本書には解説のほか『楽邦歌詠』『西方楽』全譜の五線訳譜を掲載しております。

今回の講式に声歌を練習して臨みたい方など、事前の取り寄せをご希望の際は、日本伝統音楽研究センターホームページ内「出版物の入手・閲覧について」で案内する



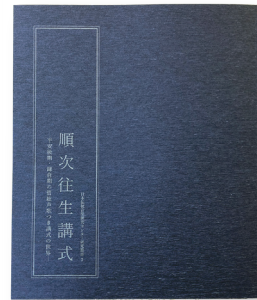
購入申込フォームよりご注文ください。

https://rcjtm.kcuu.ac.jp/publications/apply_books

- * 開催当日は会場でも販売いたします。
- * 開催終了後も上記の方法にて随時ご注文を承ります。

- 刊行物ご購入に際してご不明の点は、下記へお問い合わせください。

京都市立芸術大学事務局連携推進課 事業・広報担当
TEL 075-334-2204 E-mail public@kcuu.ac.jp



4月中旬
公開予定

視聴無料

〈オンライン〉プレ・レクチャーのご案内

「順次往生講式」をより理解して臨んでいただけるよう、田鉏智志准教授による解説を日本伝統音楽研究センター公式YouTubeチャンネルにて先行公開いたします。5月13日の聴講の前に、ぜひご視聴ください。(当日は講式のみとし、レクチャーはありません)

日本伝統音楽研究センター
公式YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/c/kcuarcjtm>



企画 | 田鉏 智志

主催 | 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター <https://rcjtm.kcuu.ac.jp/>

協力 | 魚山大原寺勝林院、魚山寶泉院、魚山實光院、龍源寺